

同点、勝ち越し!! ダメ押し!!! 鈴木舜ハット

＜FCレグノワア・Jヴィレッジスポーツクラブ＞ 3年ぶり優勝のFCレグノワア 延長後半10分、勝ち越しゴールを決め駆け出す鈴木舜（左から2人目）



FCレグノワア

3年ぶり3度目

高円宮杯第29回全日本ユース(U-15)サッカー選手権大会最終日
 (30日 郡山市・西澤サッカー場)

決勝戦が行われ、FCレグノワアがJヴィレッジスポーツクラブ(SFC)を延長戦の末、3-1で下し3年ぶりの3回目の優勝を果たした。FW鈴木舜(北信中3年)が後半19分の同点弾に加え、延長後半10分の勝ち越しゴールに、ロスタイムのダメ押し弾と活躍。レグノワアと、U-15東北みちのくリーグに参戦中のラッセル郡山FC、福島ユナイテッドFCが東北大会(11月4日開幕、福島市・十六沼公園サッカー場ほか)に出場する。

最後までトライ

窮地になれ
 はなるほど底力を発揮し、2-0で迎えた延長後半10分、レグノワア・鈴木舜のシュートはDF、GKと2度、阻止されたが、最後はねじ込んで勝ち越し。鈴木舜はロスタイムにも頭で決め、同点シュートを含めハットトリックを完成。直後に3年ぶりの優勝を告げる試合終了の笛が鳴った。就任2年目の渡辺監督は「いろいろあって...優勝できて正直うれしいです」と感無量の表情を見せた。

今年6月に、日本クラブユース選手権県予選4位で東北大会に出場したが予選リーグ全敗。MF渡辺航大主将(信天中3年)は「東北大会出場が目標だったので、出場できただけで燃え尽きた」と涙を振り返る。開催中のU-15県リーグでも優勝を



左右する一戦で黒星を喫した。今年度は日本クラブユース選手権県予選、県リーグ、そして今回の全日本ユース県大会の3冠を目指していた。渡辺航大主将は「このままでは全部ダメになる」と危機感を募らせ、ミーティングを実施。だが、指揮官は「勝つてうれし、負けて悔しいという一瞬のために練習してきたのではない。一生残る自信や技術を身につけること。練習ではできないことにトライし、試合でも自分ができるべきことにトライすることが大切だ」と話した。

それ以降、イレブンからは自ら課題を見つけ徹底練習。後半19分の同点弾は、ドリブルが武器の渡辺航大主将が、積極的にドリブルで中へ切れ込む「トライ」をしたことが結果につながった。渡辺航大主将は「冠はなくなりませんが、この大会だけは逃したく



準優勝のJヴィレッジスポーツクラブ

好相性のはずが...

＜JヴィレッジSC＞9年ぶり4回目の優勝はならなかった。今季の県リーグ1部ではレグノワアに2戦2勝。FW菅野望主将(豊岡中3年)は「いつもの落ち着きがなく、延長戦に入っても集中力がなかった」とうつぶやいた。だが「次のステージがある。頑張ります」とU-18での成長を誓い前を向いた。

仙台ユース

〇...ハットトリックを達成した鈴木舜は「監督から勝ちにこだわることが出し切れた。素早い判断が得点につながった」と振り返った。メキメキと力を付けJ1仙台ユースセレクションに合格。「上を目指してトライしました」と話し、「みんなと残された時間を大事にして、全敗した(クラブユースの)東北大会のリベンジを果たしたい」と闘志をみなぎらせた。

(佐久間 尚子)